

学位被授与者氏名	于 淼
論文題目	『管子』における「幣」の機能について
論文審査結果の要旨	<p>『管子』という書物が戦国時代から秦漢期までの間に、管子、その弟子およびその一派の人々によって長い時間をかけて完成されたものとされている。本研究は、『管子』の各文章の作者が違うかもしれないが、書物の内部に一定の横のつながりが存在するという視点を以て、その横のつながりの一つである「幣」という経済思想の重要概念に注目した。その結果、『管子』の中の140か所に上る「幣」という文字用法に一致するものが多く、主に財宝の象徴、貨幣の流通、経済調節といった方向で用いられたことを確認した。その上で、「幣」に関する思想は斉国（および戦国時代の各国）の治国理念と政治、経済政策を反映していることを明らかにした。その研究方法が独自性を持ち、得られた結果に説得力があるとみられる。</p> <p>令和3年2月16日、遠隔で審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(中国言語文化)として十分な内容であると判定した。</p>